



全国で住人を縛り付けたり、怪我をさせる等して金品を奪う凶悪事件(強盗)が多発しています。



守山署管内での被害のなかには怪我はなかったものの、犯人と鉢合わせてしまったという、凶悪事件に発展しかねない危険な事例がありました。



もし、強盗犯 が入ってきたら

- ・ドロボウと鉢合わせたら、外に逃げて大声で助けを呼ぶ
- ・逃げられない場合は、施錠できる部屋に隠れる
- ・強盗犯を刺激する言動は控える



事前対策

- ・イメージトレーニングを重ね、不測の事態に備える
(例：一人で在宅中に強盗犯と対峙したらどう対処するか)
- ・強盗犯が入りたくないと思わせる家づくりを心掛ける
(複数の防犯対策の実施)